

# 2000,000

## 人分の署名

2016年12月1日に開催された「原子力集約全国大会」で採択された声明書と大会前から集められていた20万人分の賛同署名が2017年2月24日 菅官房長官に手渡されました。(参考資料①)

一般社団法人 原子力国民会議  
と  
エネルギーと経済・環境を考える会  
の共同主催

原子力を  
国民の手に取り戻す

### 原子力国民会議

定款 第3条 (目的)  
(前略)

「安全確保を前提に  
原子力の平和利用を  
世界規模で展開する」  
ことの重要性に鑑み、  
我が国産業界及び関係各界と  
協力しながら

「原子力を  
国民の手に取り戻す」  
という目標の実現に務める。  
(後略)

(参考資料②)

共同代表

有馬朗人 氏  
(元文部大臣、  
元東京大学総長)  
石川迪夫 氏  
(元北海道大学教授)  
今井 敬 氏  
(日本経団連名誉会長、  
新日鉄住金名誉会長)  
葛西敬之 氏  
(JR東海名誉会長)  
木元教子 氏  
(元原子力委員会委員、  
評論家・ジャーナリスト)

(参考資料③)

## 「原子力規制」の改善を期待して

**提言1** 原子力発電所の再稼働の促進を

**提言2** 将来のエネルギー確保に  
もんじゅ活用と  
核燃料サイクルの確立を

**提言3** 信頼される規制行政のために  
原子炉等規制法の改正を

**提言4** 原子力規制行政の刷新を

提言3, 4は「今の原子力規制委員会じゃダメだ」ってことを言っているのですが、これはまた別の機会に掘り下げるとして、今回は提言1, 2の中身を見ておきます。

**提言1** 原子力発電所の停止により、化石燃料調達のため巨額の国富が国外に流出し、国民と産業界は電気料金の値上げによって大きな損失を強いられました。経済性や地球温暖化防止の観点からも、原子力発電なしにはわが国は成り立っていきません。  
(後略)

**提言2** エネルギー資源の乏しいわが国のエネルギー安全保障にとって、使用済み核燃料からプルトニウムを取り出して利用する核燃料サイクルを確立し、更に消費した量以上の燃料を生み出す高速増殖炉を実用化することは、重要な目標です。  
(後略)

### 最後に一言

『経済』『温暖化』『エネルギー安全保障』。。。大体、原発を推進する理屈は同じです。私は「将来」の世代へ負の遺産しか残さないゴミの問題こそが、原発を使っちゃいけない最大の理由だと思いますが、その問題には触れられません。しかしこの声明に20万人が賛同して署名をおこない、この声明を採択した原子力集約全国大会に自民党の細田総務会長といった与党国会議員が参加し、この声明を菅官房長官が受け取ったのは現実です。もうすぐ事故から6年。はっきり言って、今回紹介した原発推進の運動も、その逆の原発反対の運動も、多くの国民にとってどうでもいいことなのだと思います。国民の関心がないんだから、政府は、意に沿う意見にだけ耳を傾けてやりたい放題です。関心のない人に関心を持ってもらって、選挙などで争点になるようにならないと、この流れは変わりません。